

臨床研究「MDCTにおける冠動脈 napkin ring sign と心臓 MRI T1 強調画像における冠動脈 high-intensity plaque と PCI 関連心筋梗塞との関連」

について

筑波大学附属病院 循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

狭心症に対する経皮的冠動脈インターベンション（PCI）では、しばしば術後に心筋逸脱酵素の上昇を呈する PCI 関連心筋梗塞 を合併し、この心筋傷害の発症は短期的にも長期的にも予後に悪影響を与えるとされています。

近年、冠動脈 CT の進歩により、冠動脈の病変狭窄度のみならず、冠動脈プラークの性状も検出可能となりました。冠動脈 CT においては、冠動脈の napkin ring sign と言われるプラークの辺縁がリング状に造影される現象があり、このようなプラークは急性冠症候群を起こしうるハイリスクプラークであることが報告されています。一方、我々は心臓 MRI の T1 強調画像において冠動脈硬化病変が白く輝いて見える high-intensity plaque が、脂質を多く含んだ不安定なプラークで、この PCI 関連心筋梗塞と関連していることを報告しました。しかしながら、冠動脈 CT における napkin ring sign と安定狭心症に対する PCI 治療後の PCI 関連心筋梗塞との関連、また冠動脈 CT に心臓 MRI を追加し行うことによる PCI 関連心筋梗塞発症の予測に関しては十分に明らかにされていません。

本研究では、冠動脈 CT に冠動脈 MRI を追加することで、従来と比較し PCI 後の PCI 関連心筋梗塞を高率に予測できるか調査します。

② 研究対象者

2012 年 1 月から 2021 年 3 月 31 日までに PCI の術前に、冠動脈 MDCT と心臓 MRI が施行された患者

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2022 年 3 月 31 日まで

④ 研究の方法

冠動脈 CT での napkin-ring sign の有無、心臓 MRI での HIP の有無と、経皮的冠動脈形成術施行前後の心筋傷害の有無、および患者様の治療内容や転帰について調査します。

⑤ 試料・情報の項目

血液検査（心筋逸脱酵素、脂質マーカー、HbA1c、腎機能など）、心臓 CT、心臓 MRI

⑥ 試料・情報の第三者への提供について：予定はありません。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 循環器内科 教授 家田真樹

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停

止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

研究責任者：循環器内科 教授 家田真樹

担当者名：循環器内科 担当 渡部浩明

電話 029-853-3143（平日 9～17 時まで）

FAX 029-853-3227